



ひろしま univ.

J.B.O. Journal Vol. 1

2013.08.17

日本生物学オリンピック2013広島大会、始まる!



金賞に続け

世間では、世界陸上や高校野球といった熱い戦いに国民が釘付けとなっているなか、ここ広島でも、予選を勝ち抜いた生物分野の秀才たち約80人による熱い戦いが今日から始まる。

本日から開催される日本生物オリンピック2013本選(広島大会)は、2014年7月にインドネシア・バリ島で開催される第25回国際生物学オリンピックの代表選手選抜を兼ねた戦いでもある。



文部化学大臣(下中央)より表彰を受けた日本代表4名

今年の7月にスイスで行われた第24回国際生物学オリンピックでは、日本代表4名全員がメダルを獲得(うち新宅和憲さん(広島学院高等学校)が金メダルを獲得)するという快挙を見せた。今大会に出場する選手たちも、このような偉業に刺激され、次は自分が、という気持ちで挑んでくるであろう。

確かに、予選から最終選考までの道のりは長く険しいものであろう。しかし、このような状況を乗り越えた者だけが栄光を手にすることができる。

大きなプレッシャーのなか、熱い戦いを制し、世界大会の舞台への切符をつかむのは誰だ。

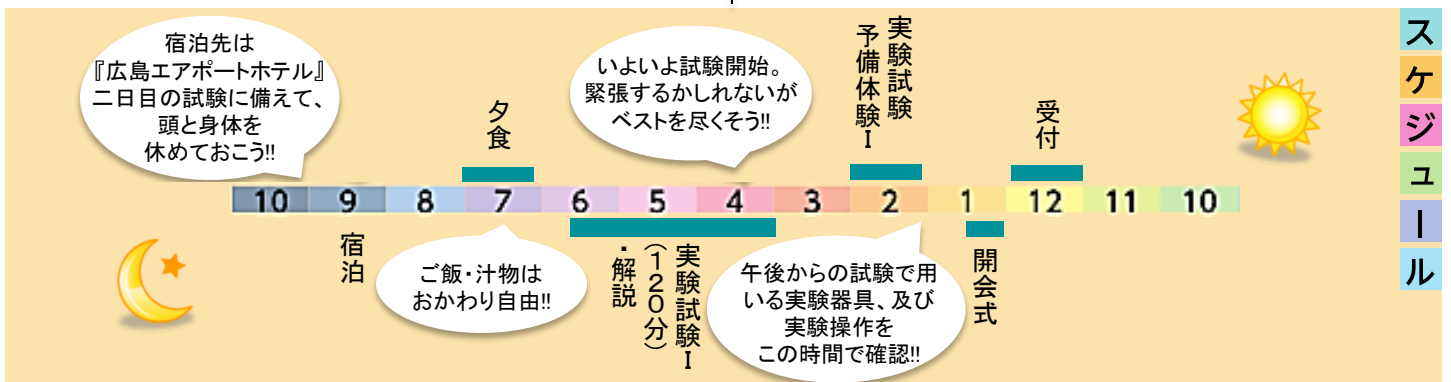


本大会で授与されるメダル

未来を背負った選手たち

本大会に出場する選手たちは、生物学分野における期待のホープたちとも言えよう。

21世紀に入り、地球規模で見た時、地球温暖化、生物多様性の減少、COP10会議、ウイルス感染の拡大、生物資源のあり方などいろいろな問題が浮かび上がってきている。そのような中で、これからの地球をどのようにして守り、持続的に豊かに発展するのは、次世代の若者達のチャレンジ精神と実行力にかかっている。このような時、日本生物学オリンピックを通して、選手たちは、生物学の不思議、奥深さに対して認識を新たにすることははずだ。そして、これらの経験が将来の夢へとつながっていくことを確信している。



ようこそ、広島大学へ

日本生物学オリンピック2013本選（広島大会）
実行委員長 島本 整



実行委員長
島本 整

日本生物学オリンピック2013本選（広島大会）に参加される選手の皆さん、このたびは3,000人以上が参加した予選を突破し、本選に参加することができたこと、まことにおめでとうございます。皆さんは、日本における生物学の将来を担う80名の若き精鋭です。ご存じのように、今回本選に参加された高校2年生以下の選手の中から来年の国際生物学オリンピックの日本代表選手が選ばれます。今年のスイス大会でも日本代表選手4名は優秀な成績を収め、金メダル1、銀メダル3でした。今回の本選広島大会にスイス大会の代表選手4名も途中から参加してもらっています。ぜひ積極的に交流を行ってください。選手全員金賞を目指して頑張ってください。

生物学という学問は極めて多様性に富んだ学問であり、化学、物理学、地学、場合によっては数学や情報学などの知識を必要とする分野まで含まれています。選手の皆さんの中には生物以外の科目も得意としている方がいるかもしれません。そのような人たちが自分の得意分野を生かして発展させることができるのが生物学のいいところでもあります。今や私たちのような生物学に関係する研究者も生物学のみの知識では新しい研究がで

きない時代になっています。その際に、他分野の専門家がたくさん近くにいる容易に共同研究を行うことができる広島大学のような総合大学は、大変ありがたい存在です。実は、このたび広島大学は、文部科学省の「研究大学強化促進事業」に採択され、研究を促進する19大学、3機関の中の1つに選ばれました。今後、広島大学における研究がますます発展することと思います。選手の皆さんは、2年に一度広島大学で開催される生物学オリンピック本選への参加の機会を利用して、自然豊かで広大な広島大学キャンパスの雰囲気味わってみてください。また、実験試験終了後は、広島大学の研究者と触れあう時間（最先端研究室訪問）を設けてありますので、楽しみにしておいてください。

これから選手の皆さんは、日頃あまり馴染みのない実験試験に挑戦するわけです。いずれも難問揃いだと思えますが、生物学の精鋭である選手の皆さんが優秀な成績を収められるよう健闘を祈っています。

Tシャツ紹介

本大会では、役割ごとにTシャツの色が区別されている。ここでは、各Tシャツがどんな役割を表しているか紹介しよう!!



グリーン：教職員
大会運営に関わる
広島大学教職員のTシャツ



コバルトブルー：選手
本大会の主役となる選手のTシャツ



バーガンディ(ワイン色)：試験TA
試験の際、選手のサポートをする
試験TAのTシャツ
(TA: Teaching assistant)



ライムグリーン：SCIBO
大会運営に関わる
学生スタッフ『SCIBO』のTシャツ
SCIBOのなかでも統括、式典、受付、案内、
誘導、等の仕事に分かれる。
(SCIBO: Science Biology Olympiad)



???：プラチナ選手
今年の7月に行われた
国際大会に出場した選手のTシャツ
どんなTシャツなのかは、お楽しみに。



バイオレットパープル：新聞SCIBO
J.B.O Journalの作成に携わる
新聞SCIBOのTシャツ
写真の撮影や選手たちへのインタビューも
していくので
その時は、笑顔で対応お願いします!

編集後記

◆みなさん初めまして。J.B.O Journal Vol.1を担当させて頂きました新聞SCIBOの大谷と伊藤です。最後に私たちからそれぞれ一言ずつ…

◆日本生物学オリンピック2013本選がいよいよ始まりました。今日から20日までの4日間、試験は2日間ですが、皆さんにとっては金賞をめざし、そして、国際大会出場の切符をつかむための大事な4日間です。本選の試験問題は、皆さんに向けられた挑戦状でもあります。だからこそ、皆さんも全力でぶつかって欲しいと思います。そのチャレンジを通して皆さんは生物学の不思議、奥深さに対して認識を新たにせずにはいられません。苦しい4日間が始

まりますが、それを経験した先輩達の足跡も見てください。精神的にも、知力においてもたくましくなり、世界の檜舞台で活躍しています。ぜひ皆さん、ベストを尽くしてください。

(大谷)

◆生物学オリンピックに挑戦するにあたって緊張をしている人も少なくはないでしょう。マークシート形式であった予選とは異なり、本選では実験試験となっています。初めて使う実験器具や使い慣れていない実験道具を扱う上で色々と緊張や不安が入り混じってしまうかもしれませんが、何よりも楽しんで試験に臨んで欲しいと思っています。生物学という神秘的かつ、不思議や現象に満ちた学問を

通して皆さんの生物への関心、好奇心、探求心をより深めていけるよう、まずは楽しく取り組んでみてください。

皆さんの試験をスムーズに行っていけるように私たちSCIBOも全力でサポートをさせていただきます新聞SCIBOは毎朝、J.B.O Journalを発行していきます。皆さんが楽しんでいただけるような新聞を作成していきたいと思っておりますので、4日どうぞよろしく願います!

(伊藤)